

クルマ、バイク、
チャリで外に
飛び出そう!

細かい湘南/ボーダー好き/エア ジョーダンは無敵

9

【ファイン】

September, 2016

No.459

PRICE

680YEN

NATURAL LIFE OF
CITY & BEACH!

SHONAN
愛車で行ってみよう!
超細かい
湘南MAP
GUIDE MAP

クルマ、バイク、チャリが相棒!

自然を感じる 愛車ライフ!

Waterman's Vehicle Life!

青空と太陽を求めて
もっとアクティブでナチュラルな毎日を!

アメリカではみんな“ココロとカラダ”を充実させたい

ソフトボードで波乗りが旬! 聖地“マッスルビーチ”で鍛えてる / ヨギーはリストラクティブ系へ
ピーガン、ローの次は“パレオ” / ボーンブロスで1日が始まる / ハンバーガーは“グラスフェッド”

ノンネイティブ×コンバース プロレザー / アディダス コンソーシアム×ファレル ウィリアムス



トロリー3万6000円、イーグルクリーフ(A&F)、ギター41万円/マーティン(黒澤楽器店)

アウターハウスのパイルパーカを軸に考えると...



B
ホリデーのプリントT

クラシカルな佇まいに心惹かれるプリントTは、アメリカの伝説的なトラベル雑誌の名を冠したブランドの新作。表面に起毛感のあるコットン仕立てで、ストレスを感じない着心地も申し分なし。9000円(CPCM)

C
キーンのメッシュシューズ

2本のコードを編み込んだ部分が、足の動きに合わせて自在に変形する「メッシュ02」。蒸れ知らずながら、かかとほしつめ、足が冷たれるハイブリッドな仕上がり。行動範囲が広がる1足だ。1万1000円(キーン・シューズ)

D
オリバーピーブルズのボストンサングラス

顔なじみのいい逆おむすび型のレンズシェイプに対し、彫金を施したメタル枠でレトロなスパイスをひと振り。淡いブルーのレンズカラーで、いつも以上に涼しげな目元に。3万5000円(オリバーピーブルズ 東京ギャラリー)



B

G

G
バードウェルのハンドメイドショーツ

憧れの西海岸スタイルを体現する独特の存在感は、1960年代とまったく同じ製法を貫く老練のなせる技。サーフニールと呼ばれる高密度生地は、速乾性に加え、レトロな色調が抜群に格好よく見える点も魅力。1万4000円(トラベルズ)

少しはしゃいだ大人の休日は
どこどこかに潮味シがキーワード
休日を迎える度にワクワクするのは大人になっても変わらない。ただし子どもと違って、はしゃいだ気分を満たすアイテム選びは心得ている。サーフライクなワードローブを味方につければ、最高の週末を迎える準備は万全だ。

H
セントジェームスのボートネックボーダーT

ボーダー柄がもたらす視覚的な癒し効果に拍車をかけるなら、ゆとりのあるボートネックがうってつけ。半袖の定番「ピリアック」は、袖が少し長めなので、腕まわりがスッキリこなれて見える。6300円(セントジェームス 代官山店)

A+B+C+D+F

ハンモックと海色のシューズは
お昼寝タイムの黄金コンビ

木漏れ日が気持ちいい木立を見つけたら、設営が簡単なハンモックでジエスタタイム。軽やかなボードシューズでくつろぎながら、腰巻きしたパイルパーカをクッション代わりにすれば、コンフォート感を一段と高められる。足元は、風通しのいいメッシュシューズで爽やかさを増せば、もう言うことなし。ハンモック 9500円/トイモック(ノルコーポレーション)

OUR RECOMMENDED WARDROBE OF THE MON

Let's Coordinate Clothing as needed to situa

D+G+J+K

タフネスなシャツをまえば
キャンプサイトの設営も百人力

ギアの性能にこだわる性分だからこそ、キャンプでの設営係にも進んで立候補。汚れなど気にせずに着られるミリシャツなら、作業もはかどる。プリントTシャツ3900円/ザ・ノース・フェイス(ゴールドウイン カスタマーサービスセンター)、ハット4500円/ニューエラ(ニューエラ)、キャンプキャリア1万2000円/テントファクトリー(テントファクトリー)

E+H+I+K

名曲が生まれることに期待して
ミュージシャンになりきる

しばらく熱中していたエレキから原点復帰すべく手に入れたアコギを片手に、近所の公園へ。浮かんでくるフレーズをアドリブで奏でているうちに、自分でもハツとするような曲になっていることが稀にあるのがたまらない。リメイクデニムで70年代を気取れば、気分は名うてのストリートミュージシャンだ。ギター41万円/マーティン(黒澤楽器店)

シーンに合わせたチョイスで快適に

シーンによって多彩な表情を見せる大自然。その気持ちよさをマックスで享受したいと願うなら、やはり適材適所な装いが不可欠。着心地や機能に加え、気分を邪魔しないルックスにも気を配ってこそ、快適さへの近道となりうるというわけだ。そんな理想を満たすワードローブに狙いを定めれば、自然との距離感をグッと縮めることもできるはず。



定番ナヴァルを半袖で涼しく!

軽やかな素材の定番カットソーを半袖に。サビにはスリットが入っている。ホワイトの配分が多いパネルボーダーなので、見た目も軽やかだ。1万5000円(セント・ジェームス代官山店)

03

SAINT JAMES

セント ジェームスをもっと知りたい

STORY

- 1850年頃** フランス北西部のセント・ジェームス市に前身となる製糸工場を設立
- 1889年** 当時の市長レオン・ルガレが「セント・ジェームス社」を創設
- 1950年** ジリアン・ボンテに経営を引き渡し、ブランド再建へのきっかけが生まれる
- 1970年** 社名を「トリコ セント・ジェームス」に変更する
- 1989年** 創業100周年を迎える
- 2001年** 1994年に規模が拡大し、さらにこの年に会社および工場面積が11000m²に



柔らかい肌触りが持ち味の「モーレ」という七分袖モデル。発色のよいネイビーの上にホワイトのボーダーをオン。とても涼やかな色合いだ。8000円(セント・ジェームス代官山店)

ボーダーアイテムを語る上で欠かせないのがフランスの老舗ブランドであるセント・ジェームス。1889年に創業し、127年の歴史を誇る同ブランドは、フランス北部ノルマンディー地方にあるセント・ジェームス市にその起源を発している。モン・サン＝ミッシェルの肥沃な大地に根を張る牧草で育った羊から良質な羊毛が手に入ることから、もともと紡績や染糸業が生業となっていた同地区。19世紀半ばに当時の市長レオン・ルガレ氏により工業化が進められていった中で創設された同社は、繊維業として同地域の主要産業の一端を築くまでに成長。その中で生み出されたのが漁師や船乗りたちの大切な仕事着とされたマリナーセーターだった。古くからイギリスとの交易が盛んであったノルマンディー地方では、あたたかく丈夫で視界の悪い海上でも見分けがつきやすいトリコロールや、ボーダーのセーターは荒波を航海する船乗りたちの必需品として重宝されたという。実用性を備えた現在のセント・ジェームスのボーダーカットソーは、そんなマリナーセーターが原型となっている。事業が急速に拡大する中でも伝統的な手法によるものづくりの精神を引き継いできた同ブランド最大の魅力は、流行に左右されない不朽のスタイルと高い品質。上質な素材を厳選、近代的な管理システムのもと、常に保たれる高水準の品質は、他の追随を許さない。そしてエスプリを感じさせながら肩肘を張ることなく気軽に着用できる側面も人気を博している理由の一つだ。

コットン100%の素材を使用。耐久性も高く、着込んで洗濯を繰り返すことによつて風合いが出るため、着る人の体に気持ちよくなじんでいく。1度袖を通したらクセになる人が多いというセント・ジェームスのボーダーカットソー。歴史と伝統技術に裏打ちされた逸品は、まさに大人が着るのに相応しい。

ボーダーアイテムを語る上で欠かせないのがフランスの老舗ブランドであるセント・ジェームス。1889年に創業し、127年の歴史を誇る同ブランドは、フランス北部ノルマンディー地方にあるセント・ジェームス市にその起源を発している。モン・サン＝ミッシェルの肥沃な大地に根を張る牧草で育った羊から良質な羊毛が手に入ることから、もともと紡績や染糸業が生業となっていた同地区。19世紀半ばに当時の市長レオン・ルガレ氏により工業化が進められていった中で創設された同社は、繊維業として同地域の主要産業の一端を築くまでに成長。その中で生み出されたのが漁師や船乗りたちの大切な仕事着とされたマリナーセーターだった。古くからイギリスとの交易が盛んであったノルマンディー地方では、あたたかく丈夫で視界の悪い海上でも見分けがつきやすいトリコロールや、ボーダーのセーターは荒波を航海する船乗りたちの必需品として重宝されたという。実用性を備えた現在のセント・ジェームスのボーダーカットソーは、そんなマリナーセーターが原型となっている。事業が急速に拡大する中でも伝統的な手法によるものづくりの精神を引き継いできた同ブランド最大の魅力は、流行に左右されない不朽のスタイルと高い品質。上質な素材を厳選、近代的な管理システムのもと、常に保たれる高水準の品質は、他の追随を許さない。そしてエスプリを感じさせながら肩肘を張ることなく気軽に着用できる側面も人気を博している理由の一つだ。

ウエイトのある生地を使ったパーカ。肩まわりは動きやすいラクラク仕になっている。ドライな肌触りのコットン素材は、機能性も十分だ。1万3500円(セント・ジェームス代官山店)



トリコロールカラーでコーヒータイムに彩りを。いつものよりも一杯よりも味わい深さが感じて感じるかも。カットソー1万1000円(セント・ジェームス代官山店)、デニムパンツ3万1500円/ハバナス、ネックレス9000円、プレスレット2万4000円/ともにノースワークス(すべてヘムTPR)、シャツ2万6000円/ビッグヤンク(エーワークローズ)、時計8300円/タイメックス(DKSHジャパン)


HISTORY/02

市長が工業化を進め創設者となる

1850年ごろ、当時の市長レオン・ルガレ氏(写真左)は家業であった繊維業を発展させ、製糸工場を設立。最初はワールセーターを生産し、やがてマリナーセーターを生み出した。後にセント・ジェームス社を創設することに



HISTORY/01



モン・サン＝ミッシェルの修道院(写真上)とブランド名が刻み込まれたネームタグ。ノルマンディーの海が起源のブランドとして、自然と共存するボリシーを掲げている。確かな品質を遵守する証だ



海とボーダーとコーヒーは相性最高

HISTORY/03

広大な敷地面積と充実した設備

この40年で企業規模が飛躍的に拡大したセント・ジェームス。歴史を重ねることに国内外からの人気が高まり、敷地面積は創業時と比べ10倍以上の大きさに。充実した設備と従業員教育のもと高品質なアイテムを作り続けている



ネームタグに刻まれる品質の証とボリシー

モン・サン＝ミッシェルの修道院(写真上)とブランド名が刻み込まれたネームタグ。ノルマンディーの海が起源のブランドとして、自然と共存するボリシーを掲げている。確かな品質を遵守する証だ